

温室効果ガス排出量 検証報告書

2024年7月19日

キューピー株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
地球温暖化対策センター
上級経営管理者 丸尾 智雅



1. 検証の対象及び目的

キューピー株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2023年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2023年度（2022年12月1日から2023年11月30日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象における都市ガス、LPG、A重油、LNG、灯油、軽油の使用に伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{※2}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ 1	53,564
スコープ 2 (調整後排出係数) ※3	85,158

NOTE:

※1：算定対象

日本国内における、キューピー(株)の各拠点、アヲハタ(株)本社、深谷ベジタブルコミュニケーション、グループ施設、及び子会社 14 社の生産拠点 (合計 97 拠点)

※2：算定方法

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度を参照し事業者が作成した「算定手順」

※3：算定には、J-クレジット制度に基づく再生可能エネルギー（熱）のクレジット償却分の控除を含む

以上